

ロボット支援直腸手術あるいは腹腔鏡下直腸手術を受けた経験あるいは予定の
患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター外科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはありません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

ロボット支援直腸手術および腹腔鏡下直腸手術後の SSI（手術部位の感染症）発生についての研究

【研究の背景と目的】

低侵襲手術の時代となり、最近ではロボットを用いた手術が導入され注目を集めています。一般的に開腹手術に比べ、低侵襲手術における SSI 発症は少ないとされていますが、共に低侵襲手術であるロボット支援手術と腹腔鏡手術後の SSI 発生率の違いとその後の再発率の違いについては分かっておりません。そこで今回の研究では、ロボットや腹腔鏡を用いた直腸手術を受けた患者さんの診療情報（カルテ情報）を調査することにより、SSI 発生の違いや再発率に違いがあるかどうかについて比較検討します。

【対象となる方】

2015年1月1日より2025年12月31日の間に当外科において、ロボット支援あるいは腹腔鏡で直腸手術を受けた方

【使用する診療情報】

- 1) 術前および術後に測定した血液検査所見
- 2) 術前の状態（年齢、性別、BMI、喫煙の有無、ステロイド使用の有無、手術の対象疾患と進行度）
- 3) 手術関連（術式、手術時間、術中出血量）
- 4) 術後 SSI の有無
- 5) 再発時期や予後

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認日から2030年12月31日まで実施され、500名の患者さんにご協力いただく予定です。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。

【結果の公表】

この研究の研究成果は今後関連学会・雑誌に発表予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 外科 奥山 隆（教授）

【問い合わせ先】

獨協医科大学埼玉医療センター 外科 担当者：宮崎 俊哉（PHS：1315）

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50 電話番号：048-965-1130（医局直通） 9:00～17:00（平日）

以上